

『肺非結核性抗酸菌症を背景とする慢性肺アスペルギルス症の臨床的検討』
に関する患者様、ご家族の皆様方へ

当院では、『肺非結核性抗酸菌症を背景とする慢性肺アスペルギルス症の臨床的検討』という調査、研究を行っています。

1. 研究意義、目的

肺非結核性抗酸菌症は慢性肺アスペルギルス症を発症するリスクが高く、その治療は難渋することが多いと報告されています。非結核性抗酸菌症を背景に発症した慢性肺アスペルギルス症の臨床像を調査することにより今後の診療に役立てていくことがこの研究の目的となります。

2. 研究対象

2010年1月1日から2015年12月31日までの間に近畿中央胸部疾患センターで肺非結核性抗酸菌症と慢性肺アスペルギルス症と診断された患者様を対象といたします。(約90名の方が該当します)

3. 研究内容と方法

患者様のカルテの記録を参照し、検査データ、画像情報、治療内容、臨床経過を調査します。本研究では、患者様に新たなご負担をおかけすることはありません。また本研究により患者様に新たに生じるリスクや直接の利益はありません。研究結果によって生み出される利益は研究者に帰属します。企業から本研究への資金援助は受けません。

4. 個人情報の取り扱い

データは匿名化(連結可能匿名化)し、鍵がかかる部屋の外部接続のないコンピューターにパスワードを設定しNHO近畿中央胸部疾患センターで保存します。研究結果は学会や学術誌を通じて発表しますが、患者さんが特定されるような形では発表いたしません。研究発表後データは消去し、記憶媒体は物理的破壊後廃棄します。

5. お問い合わせについて

この研究について、お聞きになりたいことがある場合、より詳細な研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は、担当医師または下記の連絡先までご連絡ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等お答えできない内容もありますのでご了承ください。この研究の対象となることを希望されない場合も同様にご連絡ください。お申し出のあった患者様のデータにつきましては削除いたします。なお、その場合においても患者様が診療上不利益をこうむることは一切ありません。ただし、学会や学術誌への発表後にご連絡をいただいた場合は、使用の中止はできかねますので、ご了承ください。

別紙 1

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180

国立病院機構近畿中央胸部疾患センター

内科 内藤 真依子、感染症研究部長 露口 一成

TEL: 072-252-3021, FAX: 072-251-2153

※この調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会における厳重な審査・承認をうけて近畿中央胸部疾患センター院長の許可を得て実施しています。